

和泉市議会だより



市の花「すいせん」

発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目7番5号）電話：0725-99-8154（議会直通）

和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

議会の新役員が決定

議長に
副議長に

やまもと
山本
いしはら
石原

ひであき
秀明
ひでこ
日出子

議員
議員



第62代副議長
石原 日出子



第62代議長
山本 秀明

就任のあいさつ

市民の皆さまにおかれましては、平素より市議会の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

このたび、第62代市議会議長ならびに副議長に就任させていただきました。与えられた重責を果たせるよう、円滑で公正な議会運営に向け、誠心誠意努めてまいります。

さて、国では各自治体による地方創生への取り組みが進められ、本市におきましても、現在「総合戦略」の作成が進められており、少子高齢・人口減少の対応

に加え、10年間の本市のまちづくりの指針となる「第5次総合計画」の策定も進められています。

市議会といたしましても、将来の和泉市が進むべき方向性を見据えつつ、市民皆さまの意見を積極的に取り入れ、より市民に信頼される議会として執行機関と議論を重ね、市政の発展と市民福祉の向上をめざしてまいります。

今後とも市議会に対し、ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

第3回定例会終わる

平成27年第3回定例会を、去る9月10日から10月6日までの27日間の会期で開催しました。

今定例会に上程された議案については、それぞれの常任委員会に付託し、慎重な審査が行われました。

平成26年度の一般会計・特別会計5件・企業会計3件の決算認定については、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となりました。

決算審査の内容につきましては、次号でお知らせいたします。

9月25日・28日には11人の議員が、市政全般にわたる一般質問を行い、活発な議論が交わされました。

また、この定例会では正副議長をはじめ各常任委員会及び議会運営委員会の委員、一部事務組合議会議員などの選挙・選任も行われ、議会の新たな役員が決まりました。

議会選出監査委員

もり ひさゆき
森 久往 議員

監査委員は、市の財務に関する事務の執行及び経営にかかわる事業の管理を監査します。



森監査委員

議会の新しい委員構成

◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順に掲載

主な所管事項

- ◇市の総合企画、行政経営に関する事
- ◇市の財政、市税、出納に関する事
- ◇工事等の入札、物品購入に関する事
- ◇危機管理に関する事
- ◇消防、病院事業に関する事

かねこ かずこ
金児 和子ふじた みつる
藤田 充おおoura まさし
○大浦 まさしまつた ひろゆき
◎末下 広幸よしかわ しげき
吉川 茂樹やたけ てるひさ
矢竹 輝久ともだ ひろふみ
友田 博文やまもと ひであき
山本 秀明

総務安全委員会

主な所管事項

- ◇環境保全、生活排水対策に関する事
- ◇農林業振興、商工振興に関する事
- ◇都市計画、まちづくりの推進に関する事
- ◇道路、交通対策、河川管理に関する事
- ◇上下水道に関する事

さかもと けんじ
坂本 健治おのばやし じさく
小野林 治三夫せきど しげき
○関戸 繁樹まつた よしひと
◎松田 義人はっとり としお
服部 敏男いしはら ひでこ
石原 日出子さおとめ みのる
早乙女 実

スペル・デルフィン

都市環境委員会

主な所管事項

- ◇各種医療対策に関する事
- ◇国民健康保険、国民年金に関する事
- ◇福祉施策に関する事
- ◇生涯学習、スポーツ振興に関する事
- ◇保育所、幼稚園、小・中学校に関する事

すぎもと あつし
杉本 淳もり ひさゆき
森 久往ながた かおり
○永田 香織おか ひろこ
◎岡 博子つじもと よしひさ
辻本 孔久こばやし まさこ
小林 昌子ちらん まさかつ
知覧 正勝

厚生文教委員会

庁舎整備特別委員会

庁舎整備に関する問題について審査します。

◎小野林治三夫
関戸 繁樹
知覧 正勝
坂本 健治
永田 香織
吉川 茂樹

○早乙女 実
松田 義人
大浦まさし
小林 昌子
末下 広幸

議会運営委員会

議会の円滑な運営と能率的な議事の進行を協議し、意見調整を図ります。

◎坂本 健治 ○服部 敏男 関戸 繁樹
藤田 充 杉本 淳 スペル・デルフィン
早乙女 実 辻本 孔久 永田 香織

決算審査特別委員会

10月19日から23日に開催し、平成26年度の一般会計、特別会計5件、企業会計3件の決算認定について審査しました。概要については次号でお知らせいたします。

◎服部 敏男 ○知覧 正勝
関戸 繁樹 森 久往
杉本 淳 小野林治三夫
大浦まさし 友田 博文
辻本 孔久 矢竹 輝久
永田 香織 吉川 茂樹

一部事務組合

行政の能率化、効率化を図るため特定の事務を関係の市町村で共同処理するため設立された公共団体です。

泉北環境整備施設組合

泉大津市・高石市・和泉市で組織され、し尿処理場、ごみ処理場、下水処理施設等の整備や維持管理に関する事務を共同処理します。

金児 和子 坂本 健治
大浦まさし 小林 昌子
末下 広幸

泉北水道企業団

泉大津市・高石市・和泉市で組織され、それぞれ各市が経営する水道事業に対し水道用水供給事業を行うための事務を共同処理します。

小野林治三夫 杉本 淳
矢竹 輝久 早乙女 実
永田 香織



議会の情報を発信



◇市議会ツイッター

インターネット上のコミュニケーションサービス **twitter** (ツイッター) を利用して会議の日程や進捗状況などの情報を発信しています。

「和泉市議会」をフォロー登録すると市議会情報をご覧いただくことができます。

右のQRコードをスマートフォン等で読み取るとツイッターのウェブサイトにアクセスすることができます。



◇市議会ホームページ

・議会中継

本会議や委員会の様子を生中継しています。会議終了の約3日後には録画放送を、また過去1年間の映像をさかのぼってご覧いただくことができます。

・会議録速報版

会議を開催してから約1ヵ月後に校正前の会議録を公開しています。その後、正式な会議録を公開した時点で速報版は削除します。

右のQRコードをスマートフォン等で読み取ると市議会ホームページにアクセスすることができます。



委員会報告

各所管の常任委員会では、第3回定例会で上程された議案を審査し、庁舎整備特別委員会では、市役所の建て替えについて議論を行いました。
ここではその内容を一部要約して掲載しています。



総務安全委員会

27年度一般会計補正予算

ふるさと元氣寄附事業について

問 寄附者の利便性向上を図るために取り組んだことは。

答 寄附の獲得強化に向け、今年度における取り組みとして、従来は一年間に複数回寄附をいただいた方であっても記念品の進呈は一回限りとしていたが、寄附回数に応じて進呈するように見直しを行った。また現在、記念品の充実に取り組んでおり、本議会で補正予算が可決されれば高額な記念品も含め品目を追加したいと考えている。

問 高額な記念品とは具体的にどのようなものを想定しているのか。

答 3万円以上、5万円以上、10万円以上の寄附者向けの記念品を考えている。

問 各コースの中から選択しなければならぬ仕組みなのか。

答 その通りである。

要望 ふるさと納税をいかにたくさんの方にしていただけるかが大事になってくる。億単位で寄附のある自治体では寄附額に応じて専任の非常勤職員が配置されている。本市でも職員の仕事の配分も含めて考えていただきたい。

都市環境委員会

和泉市ホテル・旅館の誘致に関する条例制定について

問 和泉市にホテル・旅館を誘致するメリットは。

答 産業・観光の振興、雇用の拡大、災害時避難所として活用が可能となることが想定される。

問 想定される補助金支出額は。

答 UR所有の和泉中央駅前のホテル用地を購入し建設する場合、建築費等に1億円、固定資産税及び都市計画税に年間1、950万円、下水道使用料に年間320万円、5年間で2億1、350万円を想定している。

問 どの程度の規模のホテル・旅館が建設可能なのか。

答 UR所有のホテル用地で建設する場合、鉄筋コンクリート造11階建て、立体駐車場とコンベンションホールを併設した140室程度の建物の建設が可能と想定している。

問 近隣市にあるホテルの利用実態は。

答 海外からの観光客で満室状態であり、また、コンベンションホールを本市の約50の公益的団体が、総会や会議で利用している。

厚生文教委員会

和泉市保育所条例の一部を改正する条例制定について

問 市が鶴山台第二保育園の廃園の方針を決めたのはいつか。

答 27年3月に作成した和泉市こども・子育て応援プランで保育所の適正配置を掲げている。この計画に基づき、同年4月に最も定員割れを起こしている鶴山台第二保育園を廃園の方向で考えていくことを決定した。

問 保護者には4月の入園時に市の方針を伝えることができず、5月に初めて廃園の方向で審議されることを知った。28年4月

の状況を見据えておくという意味で新規入園の募集停止を先送りする考えは無かったのか。

答 和泉市こども・子育て応援プランでは保育所の適正配置を検討すると、和泉躍進プラン案では公立保育所のあり方を総合的に見直すとしている。

意見 躍進プランに合わせるために廃園の方向性を決定したとしか理解できない。28年4月の動向を見て判断してもよかったのではないかと。保護者の気持ちや園児への影響を考えると在園児が卒園するまでという経過措置を考えていかないといけない。

庁舎整備特別委員会

庁舎整備方針の検討について

問 ①現在地において、和泉府中駅周辺は再開発が終了したが、次に都心にふさわしいまちづくりを進めて行くという考えをもっているのか。

答 ②UR住宅展示場跡地において、これからのまちづくりということで周辺の新たな土地利用を誘導する可能性と具体的などのようなことを考えているのか。

答 ①活性化策として、高齢化が特に著しいJR沿線におけるハード面・ソフト面を含めたま

ちづくりが重要であると考えており、今後とも庁舎を現地に置いて推進していく必要があると考える。②周辺の未利用地における民間による開発等誘導が可能性として考えられる。

要望 現在地建て替えでもURに移ったとしても、市民への利便性という部分が最も重要になってくる。非常に重要な案件であるため、現地がよい、URがよいという議論ではなく、交通の利便性や教育関係、いろんなことを総合的に考えてどうするかということを市民の皆さまにご理解いただけるような説明責任を果たしていただきたい。

定例会審議結果一覧表

件 名		委 員 会	本 会 議
和泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市職員の給与に関する条例及び和泉市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市税条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
災害復旧事業の施行について(小川東団地災害復旧工事)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市ホテル・旅館の誘致に関する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市保育所条例の一部を改正する条例制定について		可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
和泉市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定について		可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
和泉市立運動施設条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について			可決(賛成多数)
平成27年度和泉市一般会計補正予算(第3号)	【総務安全所管分】	可決(全会一致)	可決(賛成多数)
	【都市環境所管分】	可決(賛成多数)	
	【厚生文教所管分】	可決(賛成多数)	
平成27年度和泉市一般会計補正予算(第4号)			可決(賛成多数)
平成26年度和泉市一般会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市市街地再開発事業特別会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市水道事業会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市公共下水道事業会計決算認定について			継続審査
平成26年度和泉市病院事業会計決算認定について			継続審査
【議員提出】和泉市庁舎整備に関する住民投票条例制定について			可決(賛成多数)
【議員提出】和泉市議会会議規則の一部を改正する規則制定について			可決(全会一致)
和泉市学校給食調理業務委託化に関する請願		不採択	不採択
安全保障関連法案の撤回、廃案を求める意見書			否決(賛成少数)
上記の他、議案13件、報告6件、監査報告12件、教育委員会報告1件、意見書3件をそれぞれ可決等しました。			

3件の意見書を可決

各関係省庁に送付しました。

- ・ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書
- ・地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ・大阪府乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書



一般質問

9月25日・28日には11人の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。

ここではその内容を一部要約して掲載しています。



予防接種委託料について

無会派

小林 昌子

問 予防接種は近年何種類かのワクチンを同時に接種することが可能になってきた。小児予防接種と成人・高齢者の予防接種時に同時接種した場合、初診料の重複加算を行っている自治体があると聞か、本市は行っているか。またこの2年間の予防接種総額と初診料重複総額はいくらか。

答 本市では一接種に対する単価として、単独接種・同時接種とも同じ委託料を支払っている。25年度の総額は約4億円強で26年度は4億2千万円強である。総額は推計で25年度約2,530万円、26年度約2,490万円である。

問 厚労省の告示によると「一つ目と二つ目の診療科の医師が同一の場合、二つ目の診療科において、初診料を算定できるかとの問いに対し、同一医師の場合には算定できない」とされている。予防接種においては自由診療であり、一般診療とは異なるが、同時接種の場合、初診料を何回も請求するのはおかしいのではないか。府内で初診料の重複支払いをしていない自治体名と、本市はいつから改める予定かお聞きする。

答 初診料が重複しているとは考えていないが、単独接種と同時接種の単価に差をつけている自治体は堺市が25年度から、岸和田市が26年度からで、本市としては半年から1年程かけて関係者と協議していきたいが、時期については明確にはできない。



異常気象について

明政会

友田 博文

問 今回の台風18号等の影響で、関東・東北地域に大雨が降り、鬼怒川では大雨による大災害が発生した。新聞等では1時間に30ミリ台であったと報道されている。いつどこで同様の災害が起きてても不思議ではなく、異常気象はどこでも起こることである。横尾川では、ダムを廃止して50ミリア対応の河川改修を進めているが、いつ完了するかわからない状況である。もしダムを廃止した横尾川で鬼怒川のような災害が発生すれば、それは人災と考えるが市長はどのように考えるか。

答 大阪府が作成している河川整備計画によると横尾川については時間雨量50ミリ程度の降雨を安全に流下させるとともに事業効率を踏まえ、時間雨量65ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標とし、河川整備を実施すると聞いている。しかし、異常気象による想定外の大雨により災害が発生した場合は天災と考える。

意見 いかにも「情けない」という一言につきる。鬼怒川の決壊の様子、災害に見舞われている様子をテレビで見たでしょう。地球温暖化の影響で、いつどこで災害が発生してもおかしくない。横尾川ダムは、知事の鶴の一声で廃止された。それで災害が発生すれば天災、よく言えたものだ。本市の安心・安全はどこへいったのか。近い将来大雨による災害が発生すれば「当然人災だ」と強く主張し意見とする。



子育て支援について

日本共産党

岡 博子

問 中学校3年生までの通院医療費助成を来年4月から実施できないか。

答 府の補助金が所得基準の変更により1千万円減となり、加えて中学3年間で約1億円の経費が必要であるが、重要な子育て支援施策の一つと考えているため、近隣市を見て年次的に実施したいと考えている。

問 府下22自治体が中学卒業まで、2自治体が高校卒業まで助成している。早急に実施すべきだ。新制度の3歳児①保育所保育料と②幼稚園保育料の最高額と、その世帯のおよその年収をそれぞれ伺う。

答 ①保育料は3万2千円で共働き家庭は約1千2百万円以上②幼稚園保育料は2万2千5百円で専業主婦家庭は約680万円以上である。

問 ①と②で収入課税最高額が違う事は疑問だ。保育料徴収率の年次変化はどうか。

答 25年度は94・77%で26年度は94・58%である。

問 子育て世帯の貧困が拡大しているということだ。就学援助でも所得制限の改正により受給できない家庭が増えた。岸和田市と比べ、基準も厳しい。また、三木市は保育料を半額にした。保育料減額の考えは。

答 本市は国基準の78%、24階層に分け、第4子以降全額免除と工夫している。

要望 このほか学童保育の障がい児受け入れ環境の拡充など、子育て支援の施策は種々ある。多面的総合的な拡充を要望する。



防犯カメラの設置について

明政会

知覧 正勝

問 事件捜査に有効なツールとして防犯カメラの設置が促進されているが、本市ではどのように進めているか。

答 平成23年度に主要交差点等に22台の防犯カメラを設置した他、26年度から3ヵ年計画で、希望する町会等に設置費の補助制度を開始し、1小学校区あたり5台、市内全域で合計105台の防犯カメラ設置に補助する計画である。さらに各小学校で地域安全マップを作成し、委託業者が製本・配布後に安全上必要な箇所を1箇所選定し、各校区に1台、市内で21台の防犯カメラを設置する計画である。

問 今回の寝屋川市の事件を受けて、寝屋川市・守口市では積極的な取り組みが発表され、箕面市と高石市では補正予算を計上している。本市においても、設置を進めていることは承知するが、子どもの安全・市民の安心安全を守るためには現状の設置台数では少ないと考える。今後、どのように設置する予定か。

答 今後、関係機関・部署と検討し、来年度以降の設置計画を策定してまいりたい。

要望 市として想定外の事を想定した上で、市民の安心安全を守る取り組みを強く要望する。

その他の質問項目

・国道480号線の供用開始時期について



有料ごみ袋取扱店と「ボラン

ティア清掃ごみ」について

日本共産党

早乙女 実

問 広報折込みの「有料指定袋取扱所一覧」掲載の取扱店はどのように決めたのか。

答 これまでの粗大ごみ処理券取り扱いの168店舗に加えた、市内183店舗（7月8日現在）となっている。

問 全ての町にあるのか、また市南部地域など空白地域対応は何か考えているのか。

答 父鬼町を例に挙げると、特定郵便局にご協力いただき、市内21カ所と泉大津市1カ所で、11月からの取り扱いを準備している。このことで、助松団地・富秋町3丁目付近も対応できる。

問 「個人ボランティア清掃のごみ収集」の内容がわかりにくい。説明文の「活動報告書」は「活動登録申込書」ではないのか。

答 排出場所の登録、ごみ袋の交付枚数を把握する目的で提出をお願いするが、清掃後の「報告書」に勘違いされやすいタイトルとなっているので、取り組みが落ち着いたところを見計らい変更して行きたい。

問 市職員による収集体制はどうなるか。

答 職員3名、臨時職員3名の6名体制で、4トンパッカー車1台、2トンダンプ2台で対応する。

要望 有料指定袋は宅配可能業者の活用など販売店舗を工夫し、ボランティア清掃は、より流れのわかるピラ作成を要望する。

その他の質問項目

・高齢者福祉施策



家庭系日常(可燃)ごみ
有料化の支援策について

公明党

服部 敏男

問 家庭系日常(可燃)ごみ有料化に伴う紙おむつ利用者への支援策について伺う。

答 「乳幼児」は2歳未満までで、一人当たり一ヵ月200袋を10枚(24ヵ月240枚を上限)とし、「高齢者紙おむつ給付対象者」は、申請により一人当たり一ヵ月200袋を20枚(6ヵ月単位)で、「障がい児・障がい者日常生活用具(紙おむつ)給付対象者」は、申請により一人当たり一ヵ月200袋を20枚(6ヵ月単位)でそれぞれ無料引換券を郵送する。これらの支援策は泉州地域の有料化実施団体の取組みを参考に実施する。

問 泉州地域の他市の支援策は、どのようなになっているか。

答 堺市と岬町は無料収集で、本市を除く有料化実施10団体のうち、すべての紙おむつを無料収集しているのが2団体、支援策が全くないのが2団体、本市と同様の支援策に取り組んでいるのが6団体である。

問 生活環境課の支援対象者と生活保護受給者で紙おむつ支給対象者の生活状況は殆ど同じと思うが生活保護受給のために支援策が受けられないのは矛盾があるのでは。

答 どの範囲まで支援を行うかはゼロペー

要望 矛盾していると思う部分について、今後早期に矛盾を感じさせない支援策の展開を強く要望する。



放課後等デイサービス誘致
の後押しについて

明政会

大浦 まさし

問 放課後等デイサービスとは、どのような施設か。

答 障がいや発達に遅れのある子どもが放課後等に生活能力向上のために必要な訓練を行い、状況や環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練を行う通所施設である。

問 和泉市内にはまだまだ放課後等デイサービス施設が少ない。その中で、市内で施設開所を検討してくれようとしている法人もあると聞く。開所場所などの情報提供ができるように取組むことはできないか。

答 市として情報提供はしていないが、大阪府宅地建物取引業協会泉州支部と連携し、本市ホームページ内のシティプロモーションサイトで、市内の不動産物件や宅建業者の情報を検索できるようにしている。

要望 開業してくれようとしている事業者に、アドバイスや情報提供などのご案内をお願いしたい。今回は市民の方々からの質問をそのままの形で聞かせていただいた。これから改善に向けて市民、保護者の疑問と一緒に取組み、質問させていただくので市もご協力いただきたい。



「産後ケア」について

公明党

永田 香織

問 昨年度の母子健康手帳発行数、妊娠中の支援件数、産後の相談窓口はどこか。

答 1、444件発行、279件の相談、保健センター・保健福祉センターで実施。

問 支援が必要な妊婦を把握するため妊婦健康診査未受診者をなくす事が要だ。本年度本市の助成額は1人9万円である。岸和田市や貝塚市は11万6、840円で府内には12万円以上の自治体もある。府の平均額、本市の順位は。今後拡充する予定は。

答 府平均額は10万8、534円で43市町村中37位である。3月に厚労省より新たに「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」の通達があり、28年度拡充に向けて検討している。

問 「こんにちは赤ちゃん事業」で産後全ての家庭訪問を実施する事になっているが、25年度の未訪問理由と対処は。

答 里帰り出産等による不在等によるもので、保健師の訪問や電話、4ヵ月健康診査等で全数の状況把握ができています。

問 府内初宿泊型・日帰り型ケア事業に取り組んでいる「枚方市産後ケア事業」を実施できる施設等はあるか。実施できるか。

答 出産できる施設が考えられ、医療機関が4ヶ所あるが、相談窓口となる「子育て世代包括支援センター」の設置が必須で専門職員や実施施設等の確保の課題があり、他市の実施・運営状況を参考に検討する。



選挙権年齢引き下げに伴う
取り組みについて
五月会
関戸 繁樹

問 来年夏からの選挙権年齢引き下げに伴い、若者の投票率向上に特化した取り組みが重要である。市の考えを問う。

答 小中学校の児童生徒会選挙の際、実際の選挙用の投票箱や記載台の貸与を行う。また、来年夏の参議院選挙の投票事務における学生の雇用について桃山学院大学と協議中である。今後は、高校での模擬投票や学生への選挙出前講座に積極的に取り組む。

要望 若者への投票行動の動機付けには、「投票した者への買い物割引」等の特典やスマートフォンを活用したLINE・フェイスブック・ツイッター等の情報発信が効果的である。これらを実施するためにも「若者による選挙啓発団体の結成」を提案する。

答 全国の若者選挙啓発団体を参考に、本市でも同様の団体結成を検討したい。

問 今年度から消防団員招集サイレンが鳴らなくなり、メールでの招集となった。自分自身、消防団員として活動する上で不便に感じている。長年、当サイレンは団員招集目的に加え、地域住民に火災を知らせる貴重な手段とされてきた。就寝時に隣家火災に気付かず、逃げ遅れる可能性もあり、「自助の妨げ」にも繋がる。改善を求める。

答 火災の周知・注意喚起にも有効なため、地域住民に周知する方策を研究する。

その他の質問項目

・市内業者育成について



医療用ウィッグの
助成について
公明党
石原 日出子

問 円形脱毛症を発症することによる、外見が大きく変わる精神的ショック、経済的負担増、周りの目を気にして外出が出来なくなるなどの切実な悩みを少しでも無くしていくには、病気に対する正しい理解を広く周知し、理解をしていただくことが必要だと思いが、どう考えているのか。

答 円形脱毛症患者の社会生活に影響を及ぼす要因には、周囲の人たちの病気に関する情報や理解が乏しいことによる無理解もあると思われるため、ホームページを活用した情報提供により、理解を促していく。

問 抗がん剤治療の副作用でおこる脱毛に悩む患者向けに医療用ウィッグの購入助成を実施している自治体があるが、本市でも円形脱毛症患者に対して検討していただきたいがどうか。

答 円形脱毛症は、精神的な痛みや外出を控えるなど社会生活に大きく影響を及ぼすため、対応としてウィッグをつけることも選択肢の一つであると考えている。今後の各自治体のウィッグ購入助成についての実施状況や健康保険の医療機器の適応についての改正状況などの動向に注視していく。

要望 精神的・経済的な負担軽減策として助成に積極的に取り組んでいただきたい。

その他の質問項目

・高齢者福祉の充実について



地域猫活動および
18歳選挙権について
公明党
末下 広幸

問 平成26年度第4回定例会において人と動物が幸せに暮らす社会実現のため、地域猫活動の基本であるTNR活動を紹介したが、その後の経過について伺う。

答 近隣市への視察、市内の獣医師代表やボランティアとの意見交換を行い、どのような形で支援できるか検討している。

問 地域猫活動は飼い主のいない猫の繁殖を抑え、自然淘汰で数を減らしていくことを目的としている。不妊去勢手術の費用助成は市が取るべき施策と思うが考えは。

答 繁殖制限として手術は有効であると認識しており、他市の状況を参考にしながら助成について検討してまいりたい。

問 次に選挙権についてお尋ねする。本市において来年度18歳、19歳になる人数は。

答 本年5月31日現在の数字で4、389人である。

問 若者の政治参加への意識を高めるため教育現場における主権者教育も必要である。本市における高校生への周知啓発についての考えは。

答 総務省で政治参加に関する教育のための高校生向け副教材を作成中であり、今秋にも配布される予定となっている。本市としてはこの副教材が配布された後、大阪府選挙管理委員会と連携し、高校等での模擬投票などに取り組んでまいりたい。

トピックス

◆子ども議会

「和泉市子ども議会」が平成27年8月3日(月)に開催されました。17回目となる今年は、市内各中学校から21人が参加しました。「公園・緑地・道路・交通安全環境づくり」などのテーマに沿って、中学校ごとに和泉市におけるこれからの取り組みについて提案し、市長及び担当部長と質疑・答弁を交わしました。終了後には、市長がこどもたちからの質問に答える「ハートフルタイム」があり、なかなか雰囲気で行われませんでした。

◆和泉市庁舎整備に関する住民投票

老朽化し、必要な耐震基準を満たしていない市庁舎の整備については、平成24年11月以降6回にわたり庁舎整備特別委員会を開催し、検討を重ねてまいりました。9月17日に開催した第6回特別委員会において、市長から「現庁舎敷地での建て替え」という方針が示され、それに対して多数の意見が出されました。

その後、9月定例会の本会議において、「庁舎の位置」について市民の皆さまの意思を確認することを目的に12名の議員から議案「和泉市庁舎整備に関する住民投票条例制定について」が提出されました。提案理由が述べられた後、賛成・反対の立場からそれぞれ討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決されました。

この条例に基づき、「現地での建て替え」か「和泉中央に新築移転」か、二者択一の住民投票が11月22日に実施されました。

◆議員辞職

柏 富久蔵議員が9月30日付けで議員を辞職されました。これにより現在は欠員1名で議員は23名となります。

編集後記

今定例会で行われた議会役員
の改選により、広報広聴委員会の
メンバーが刷新しました。
市民の皆さまに議会活動をよ
り分かりやすくお伝えするため、
議会だよりをはじめ、ホームペー
ジや映像配信がより充実したも
のになるよう協議してまいります
ので、よろしく願っています。

〈広報広聴委員会〉

委員長 知覧 正勝
副委員長 金児 和子
委員 森 久往
岡 小野林 三夫
服部 敏博 敏男

第4回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合
もありますので、詳しくは電話：0725-99-8154
市議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
11月20日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
11月30日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
12月1日(火)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月2日(水)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月3日(木)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月4日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
12月10日(木) ～14日(月)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
12月15日(火)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時

第3回定例会・委員会の傍聴

(のべ人数)

	開催期間	傍聴者	ライブ中継閲覧者
本 会 議	9月10日 ～10月6日	17人	51人
常任委員会	9月11日 ～9月15日	4人	※
庁舎整備 特別委員会	9月17日	3人	※

※委員会室で開催される会議は、ユーーストリームで中継を行っており、
閲覧者数は把握できませんのでご了承ください。

議員の年賀状・寄付は禁止されています

公職選挙法により年賀状などの時候のあいさつ状(答
礼のための自筆のものを除く)を出すことや、寄付を
行うことが禁止されています。市民の皆さまのご理
解とご協力をお願いします。

市議会へのご意見をお聞かせください

電話、ファックス、市議会ホームページの「ご意見・
お問い合わせ」フォームなどからお寄せください。
〒594-8501 和泉市役所 議会事務局
電話:0725-99-8154(直通) FAX:0725-43-4525